

## 救 助 概 況

平成 20 年中の救助出動件数は 54 件で、前年に比べ 19 件減少している。救助活動件数は 24 件で、前年に比べ 12 件減少している。

なお、救助人員は 22 人で、前年に比べ 15 人減少している。(下表参照)

救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救 助 活 動 件 数		救 助 人 員	
	件 数	対前年増減率	人 員	対前年増減率
16 年	3 8	5. 5 %	3 5	2. 9 %
17 年	2 5	▲ 3 4. 2 %	2 9	▲ 1 7. 1 %
18 年	2 8	1 2. 0 %	2 3	▲ 2 0. 7 %
19 年	3 6	2 8. 6 %	3 7	6 0. 9 %
20 年	2 4	▲ 3 3. 3 %	2 2	▲ 4 0. 5 %

事故種別ごとに出動件数をみると、最も多いのは、交通事故の 20 件で全体の 37.0%を占めている。次いで水難事故及びその他の事故のそれぞれ 11 件 (20.4%ずつ) で、以下火災の 9 件 (16.7%)、機械による事故の 2 件 (3.7%)、建物等による事故の 1 件 (1.8%) の順となっている。

また、救助活動件数では、交通事故が最も多く 10 件で全体の 41.7%を占め、次いでその他の事故の 6 件 (25%)、水難事故の 4 件 (16.6%)、火災の 2 件 (8.3%)、機械による事故及び建物等による事故のそれぞれ 1 件 (4.2%ずつ) の順となっている。

救助人員は 22 人で、救助活動 1 件当たり 0.92 人を救助していることになり、事故種別ごとにみると、交通事故によるものが 9 人で、昨年と同様最も多く、全体の 40.9%を占めている。